

喜びも悲しみも――

思い出はうたとなり、心に響きわたる。
どんな時代でも、懸命に生きよう。

しせん

四川のうた



二〇〇八年カンヌ国際映画祭 コンペティション部門正式上映

ジャ・ジャンクー（『長江哀歌』）監督最新作

三国志の舞台、四川省・成都。

中国の繁栄と衰退を象徴する国营工場が50年にわたる歴史に幕を降ろす。

それぞれの時代と、それぞれの家族を支えた労働者たちが語る人生から、

中国の大きなうねりが紐解かれてゆく壮大な叙事詩。



監督・脚本：ジャ・ジャンクー 撮影：ユー・リクワイ／ワン・ユー 音楽：半野喜弘／リン・チャン 出演：ジョアン・チェン／リュイ・リービン／チャオ・タオ／チェン・ジェンビン
製作：エクストリーム・ピクチャーズ、上海電影集團上海攝影所、華潤置地有限公司、バンダイビジュアル、テレビ朝日、ピタース・エンド／オフィス北野 配給：ピタース・エンド、オフィス北野

『長江哀歌』 ジャ・ジャンクー監督の 新たな最高傑作

工場とともに消えゆく、
労働者たちの思い出…。
笑顔も涙もうたにのせ、
それでも懸命に生きてゆく

小さな日々の思い出から 大きな歴史が浮かび上がる 壮大な叙事詩

50年にわたり中国の基幹工場として栄えた巨大国营機関「420工場」、今その歴史に幕が降ろされる。それは3万人の労働者が失業し、その敷地内で暮らした10万人の家族たちの「故郷」が失われることを意味する。終焉を迎える工場で、労働者たちは日々の思い出を語りだす——“仕事を教えてくれた班長との絆”“14年ぶりの涙の帰郷”“職探しの苦労”——ありふれた日常の“喜怒哀楽”。しかし、そのささやかな物語の一つひとつが繋がる時、背景にある歴史が次々に浮かび上がってくる——大躍進政策、文化大革命、高度経済成長——政治的な変動と呼吸を合わせるように移り変わる「420工場」。そして、そこで働く人々の生活。それは社会主義・中国がたどってきた激動の半世紀と重なり合う。繰り返される繁栄と衰退。目まぐるしく変化する価値観。体制に翻弄され沈む個性。意図せずとも時代のうねりに巻き込まれてゆく、残酷でドラマチックな現実。しかし、どんな時代であろうとも、喜びも悲しみも背負いながら、逞しく生きる彼らの姿は、美しく眩しい。それは、見る者の心に静かで深い感動を残すだろう。

中国の若き名匠が名もなき庶民の人生を照らし出す

ヴェネチア国際映画祭でグランプリを受賞した『長江哀歌』のジャ・ジャンクーが、次なる舞台に選んだのは運命的にも震災直前の四川省・成都。機密機関であった国营工場が、商業的な施設へと建替えられる計画を知り、激変する工場と働く人々の記録を残すことを決意する。集団主義の中で埋没してしまった労働者たち100人に光を当て、丁寧に彼らの人生を引き出してゆく。そこで語られた心揺さぶられる実話を基に、さまざまな世代を反映する脚本を創作する。昔「職場の花」と謳われた中年女性を演じたのは、ハリウッドで女優、監督として活躍する才女ジョアン・チェン。壮絶な母と子の別離を語る初老の女性を、中国を代表するベテラン女優リュイ・リーピン。初恋の思い出を語る男性にチェン・ジェンビン。輝かしい未来を予感させる若きキャリアウーマンをジャ・ジャンクーの「ミュージズ」チャオ・タオが演じた。俳優たちは「語り」という難しい演技に果敢に挑戦し見事に成功している。また驚くべきことに、これら4人の俳優以外は、全て実際に「420工場」で働き、暮らした人々が出演している。圧倒的な存在感の労働者たちの表情は肖像画のように慎重に切り取られ、朽ち果ててゆく工場の様子は静物画のように重厚に映し出される。美しくも悲しい、消えゆく風景は私たちの心に焼きつく。

記憶に寄り添う“うた”たち

中国で今なおカリスマ的な人気を誇る、山口百恵主演の大ヒットTVドラマ「赤い疑惑」の主題歌、イギリスの作家イエイツの詩、「三国志」の舞台となった古都・成都を詠う古典詩、時代を切り取る流行歌、伝統的な歌劇…人々の記憶に寄り添う“うた”たちは、映画に花を添え、哲学的な深みをもたらす。そして、登場人物たち一人ひとりが紡ぐ物語は、新たな“うた”となり、私たちの心に響きわたる。

「420工場」—1958年、航空機のエンジンを製造する国营工場として設立。軍の機密機関であるため「420工場」と数字で呼ばれていた。敷地内には映画館などの商業施設はもちろん幼稚園から大学まで完備され、独立した一つの社会が形成されていた。

世界から消えてしまう世代を、深い感情で繊細に記録している。—— ニューヨーク・タイムズ (米)

あなた、私、そして全ての人の、過去、現在、そして未来がこの映画には含まれている。—— 新京報 (中国)

し せ ん 四川のうた

08年カンヌ国際映画祭 コンペティション部門正式上映

監督・脚本・プロデューサー | ジャ・ジャンクー (『長江哀歌』、『世界』) 脚本 | ツァイ・ヨシミン 撮影 | ユー・リクウイ (『グラフィック・シティ』)、ワン・ユー
音楽 | 半野喜弘、リン・チャン 出演 | ジョアン・チェン (『ラスト・コネクション』)、リュイ・リーピン (『青い風』)、チャオ・タオ (『長江哀歌』)
製作 | エクストリーム・ピクチャーズ、上海電影集團上海撮影所、華潤置地有限公司、バンダイビジュアル、テレビ朝日、ビタース・エンド / オフィス北野
配給 | ビタース・エンド、オフィス北野 2008年 | 中国、日本 | HD→35ミリ | カラー | 1:1.85 | DルビーSRD | 112分 原題:二十四城記 | 日本語字幕:小坂史子
【公式サイト】 www.bitters.co.jp/shisen/

4/18(土)心に響くロードショー

特別鑑賞券¥1400(税込) 絶賛発売中! ●劇場窓口でお求めの方に、オリジナルポストカードプレゼント! (限定)

上映時間 | 11:00 | 13:30 | 16:00 | 18:30

『四川のうた』公開記念 若き名匠ジャ・ジャンクーの軌跡 5作品一挙上映
「一瞬の夢」「プラットホーム」「青の稲妻」「世界」「長江哀歌」/ 詳細はユーロスペースまで

ユーロスペース EUROSPACE

渋谷区円山町1-5
(渋谷・文化村前交差点左折)

☎03-3461-0211
www.eurospace.co.jp

